

人と緑に育まれて

厚別区は20歳

わたしたちのまち厚別区は

2009年、20周年を迎えました。

これは、20年よりもはるか昔からある自然と

この地で暮らしてきた人たちのおかげです。

厚別区のまちの歴史を学び

未来の厚別区を思い描いてみましょう。

さあ、みんないっしょに

「あつべつワールド」へ出発だ！

厚別探検隊「アツベーツ」と 歴史の旅へ出かけよう。

ちょっと先の未来から、厚別探検隊「アツベーツ」が
20歳のお祝いにやってきました。

厚別のことなら何でもござんじ「あつべつ教授」と
教え子のモノシリ「アッキー」と「ベッキー」が
わくわくの時間旅行にご案内します。

あつべつ教授

厚別区生まれ厚別区育ちの歴史研究家。
生まれた町のことをもっと知りたくて、
厚別探検隊「アツベーツ」を結成。
タイムマシンを運転し、
過去へ未来へ飛び回る。



「アッキー」&「ベッキー」

野幌森林公園からあつべつ教授の庭に
遊びにきていた2匹のリスが
知らず知らずに言葉をおぼえた。
今では教授の熱心な生徒であり、
いつも一緒にいる大切な友だちでもある。

あつべつ目次 ワールド

第1章

昔の厚別

誕生の秘密 あつべつの大地	8
大昔の厚別は動物たちの王国	9
縄文時代の人たち	10
時は流れ、明治時代	11
信州開墾地	13
交通の要	14
豊かな水田地帯	15
一大酪農地帯	16
のどかな農村地帯	17
瑞穂豊かな地	18
水害との闘いの歴史	19
あつべつ地名カルタ	21
明治・大正の暮らし	23
まちの発展	24

農村地から住宅地へ

農村地あつべつ	26
激動の時代、昭和！	27
農村地から住宅地へ	29
二つの問題を解決！そして便利なまちへ	31
厚別“区”誕生！！	33
陽だまりロード	35
道の歴史	37

第2章

厚別区の今

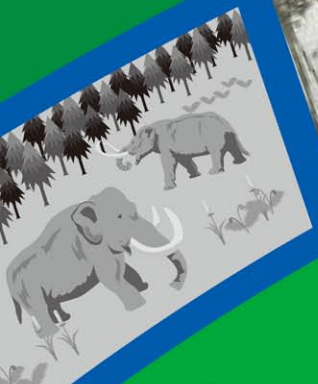
知ってる？厚別区	40
みんなで取り組むまちづくり	41
自然あふれる厚別	43
自然観察に出発！	44
野幌森林公園の自然	45
四季の動・植物	46

第3章

20歳の主張！！あつべつのここがスキ	51
みんなで描こう！未来の厚別	53
数字で見る厚別	55
アツベーツ入門テスト	57
歴史スゴロク	58
厚別略年表	62
終わりに	64



さあ、昔の厚別へとタイムスリップ!



Alice (アリス)号

.....
アツペーツが未来から乗ってきたタイムマシン。
タッチパネルで動き、燃料は未来で開発された
もので、エコがヒントになったとか。車にも船に
もなり、アリス号に行けない場所はない。名前の
由来は厚別の『A(ア)』と『リス』の組み合わせ。



「はるか昔は海におおわれて、海牛がいた!」 「厚別は昔、農村地帯だった!」

●^{かく}に隠された厚別の秘密や謎を知るために、いざタイムスリップ!
●^{ひ みつ なぞ}むかしの厚別は歴史の“厚”い別世界。さあ、確かめに行こう!



第1章 昔の厚別

厚別の大地

厚別の大地を大きく分けると

- 北: 平野部 ~ ほぼ泥炭地
- 南: 丘陵部 ~ 野幌丘陵 ~ 主として泥岩や砂
- 厚別台地 ~ 軽石流

厚別区周辺の地形図



大地ができるまで

1. 平野部

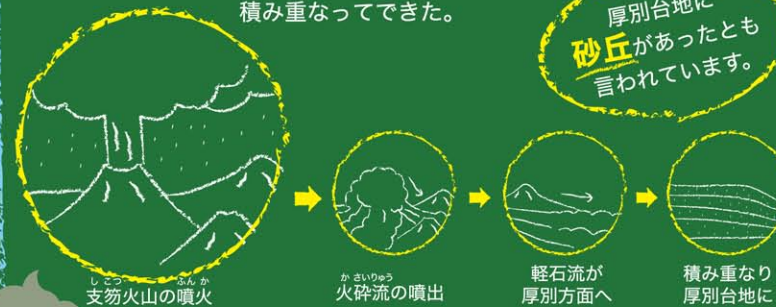
平野部の泥炭層は、約3,800年前にその形成が始まった。

2. 野幌丘陵

約200万年前から80万年前くらいの間に、海底にたまった泥や砂などが積み重なり、その後の地殻変動で盛り上がり、土台を形成した。

3. 厚別台地

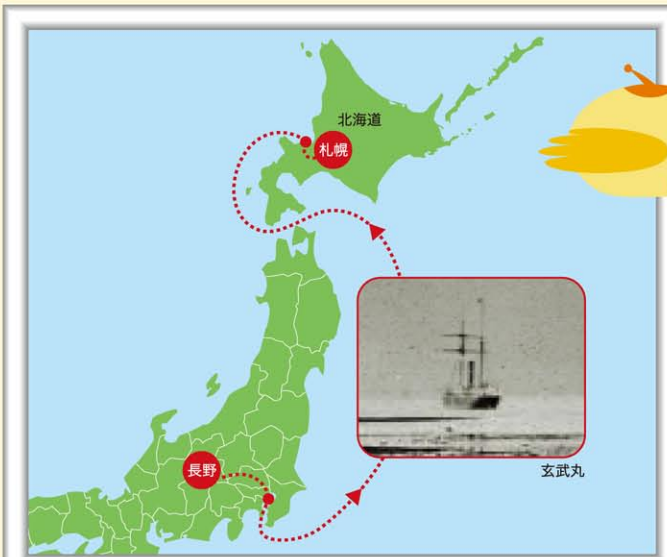
約36,000年前から30,000年前くらいの間に起こった、支笏火山の噴火により軽石流が積み重なってできた。



アリス号で昔の厚別へタイムスリップしている間、厚別の大地の歴史について勉強しよう！

おっと、そろそろ昔の厚別に到着じゃ！

時は流れ、明治時代



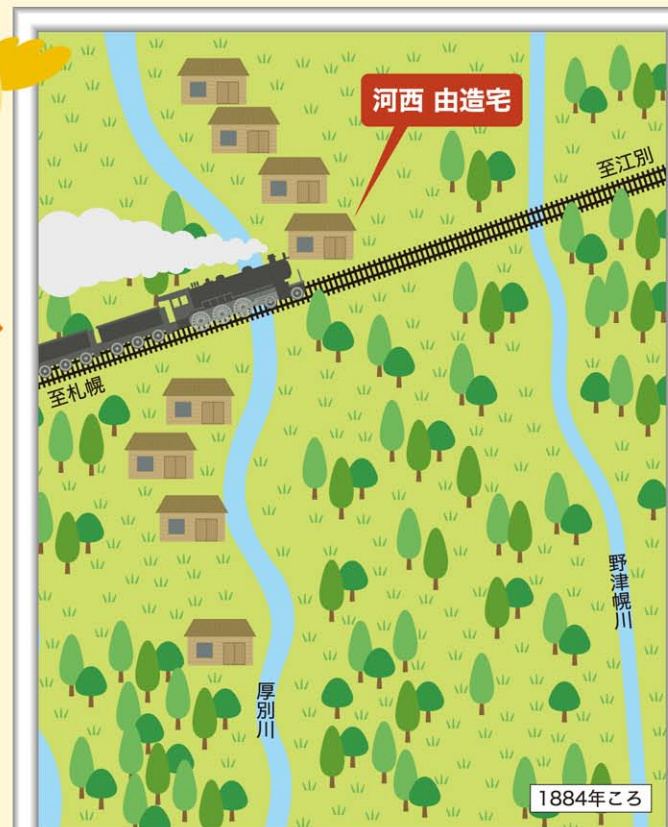
1882年(明治15年)にふるさとの長野をあとにした河西由造たちは、横浜にむかい、船に乗って札幌へとたどり着きました。



札幌県に開拓の土地を申請し、許可を得て厚別の地に移住しました。



のべ100人もの人を雇い、木を切って小屋作りをして開墾を進めました。



苦勞を重ねながら、田畑の開墾に成功し、厚別開拓の基盤ができたのです。

厚別開拓の先駆者 河西 由造

1845年(弘化2年)生まれ。長野県出身。大変な苦勞をして開拓に成功し、後に水田約55ヘクタール、畑約25ヘクタールの河西農場を経営。人望もあつく、重要な公職にも携わりました。67歳で亡くなった時には全村民が葬式に参列したと言われています。



開拓に必要なお金はどうしたの？

由造たち一行は、ふるさとで財産を売って、お金にして持参し、開拓に必要な鍬や鋤、果樹の苗木などを買いました。

一行のおサイフチェック
少ない人で **200円**
(現在で約196万円)
多い人で **1,500円**
(現在で約1,467万円)
※当時の米の価格から推測



なんで厚別を選んだの？

当時は、現在の白石区のほうまで開拓が進んでいたため、未開の地である厚別の開拓のほうが有利と考え、賛同するわずかな仲間とともに、厚別川の川沿いを選んだようです。



そのころの札幌



次のページから各地域ごとの詳しい様子を見てみよう！

しん しゅう かい こん ち 信州開墾地

北海道なのに『信州』？

この地域は信州(現長野県)出身の人が多かったため、のちに信州開墾地と呼ばれるようになりました。

かい たく 開拓は苦労の連続

1898年(明治31年)の水害で、水田が浮き上がり、そのまま隣の水田の上に乗ったという話が残っています。たび重なる災害により農業を離れる人が多くいたそうです。

水色表記されているものは現在の施設

GO マイ・タウン
FOR アット・ニジ・カワシモ



HISTORY

1883年(明治16年)、河西由造たち8戸が開拓したこの地域は、水田の開墾に成功したことで人が増え、20年もたたずに大きな集落を形成するほどになりました。



しなの 厚別で最も歴史ある学校—信濃小学校

教室 (16坪)	廊下 (4坪)	机室 (職員室) (12坪)	居間 応接間 玄関	台所 玄所

▲信濃簡易教育所校舎／1893年



▲信濃尋常高等小学校／1920年

名前の歴史

信濃簡易教育所(1893年)
↓
信濃尋常小学校(1896年)
↓
信濃尋常高等小学校(1913年)
↓
信濃国民学校(1941年)
↓
信濃小学校(1947年)

しなの みんなの気持ちをひとつに 信濃神社

信濃神社ができたのは、1897年(明治30年)。河西由造たちは長野県各地から来住した人たちが心をあわせて開拓に励めるようにと、ふるさと・信濃(現長野県)で最も崇敬されている信州諏訪大社の御分霊をまつりました。

今も残る『信濃』の名

小学校・中学校・児童会館・公園・交番など



信濃神社／2009年

信濃神社／1898年ころ

交通の要



旭町は松の木が由来

「旭町」は、今の国道12号沿いに生えていた松の大木の辺りを、「朝日松」と呼んでいたことに由来するそうです。現在でも町内会やバス停などにその名を残しています。

『あさひまつ』？
『あさひまち』？

水色表記されているものは現在の施設

GO マイ・タウン
FOR アサヒマツ



HISTORY

1887年(明治20年)、千田松太郎、渡辺吉太郎たちが炭焼きをしたのが始まり。1889年(明治22年)に江別街道(現国道12号)が開通し、1894年(明治27年)には厚別駅が開業。旭町は交通の中心地となりました。

電気のある生活

1919年(大正8年)に初めて電気が通ったとき、昼間のような明るさにびっくりしたそうです。

厚別駅の今昔



88年後…

かい たく 開拓の中心に 2人の阿部仁太郎

豊平で成功していた仁太郎(初代)は、厚別に注目し阿部農場を作り、厚別発展に力を注ぎました。また、仁太郎(2代目)と協力し、1892年(明治25年)に自分の土地を提供して厚別駅と旭町を結ぶ停車場通を完成させるなど数多くの功績を残しています。

功績① 厚別駅の創設／1894年

功績② 郵便局の創設／1896年

功績③ 電力をまちに誘致／1919年



阿部仁太郎／初代



阿部仁太郎／2代目(幼名:初太郎)

豊かな水田地帯

大きかった大谷地

当時の大谷地は、月寒川と厚別川に挟まれた低湿地帯全体を含む広大な地域でした。



きっかけは、吉田用水

1891年(明治24年)、厚別川から月寒川にいたる約5kmの吉田用水が完成しました。吉田善太郎が中心となって約50人が汗と泥にまみれながら、4カ月で完成させたそうです。これにより大谷地の開拓は急速に進みました。

水色表記されているものは現在の施設

GO マイ・タイショウ FOR オオタチ



釣橋

昔、厚別川に釣橋があり、その近くに住んでいた人を「釣橋さん」と呼んでいた。その人が今の釣橋付近に移り、住民がその場所を釣橋と呼んでいるうちに、地名になったと言われています。

お米が豊作

1886年(明治19年)には、福井県から移住した人たちが大谷地で米作りを試み、その年は1年で食べる米の量よりも多く穫れたそうです。



開拓を見守ってきた大谷地神社

1897年創立



大谷地神社/1921年

HISTORY

1885年(明治18年)、阿住勘五郎、駒林鉄五郎が開拓したのが始まり。大谷地は低湿地帯の特性を生かし豊かな水田地帯として、飛躍的に発展していきます。

発展を支えた苦勞人 吉田善太郎

善太郎の開拓生活は、家一軒と1ヘクタールの土地、馬5頭からはじまりました。農業を志した人たちの土地、さらに大谷地の土地も譲り受け、必死に開墾したそうです。善太郎の大谷地牧場は最盛期で、水田70ヘクタール、畑60ヘクタール、小作三十数戸をもつ大農場になりました。

土地

家×1軒

1ヘクタール

馬×5頭



一大酪農地帯

酪農先進地

この地域は、宇納牧場(のちに宇都宮牧場、出納牧場に独立)、星子牧場などが開設され、全国各地から酪農を志す青年たちがこの地を訪れ、巣立っていきました。



星子牧場の冬の牛乳運搬/1935年

GO マイ・タイショウ FOR ノッポロ



野津幌簡易教育所(現上野幌小学校)

広島街道

星子牧場

大谷地東小学校

厚別公園競技場

上野幌西小学校

宇納牧場

上野幌東小学校

立花

国道274号とJR千歳線が交差する場所は、このころ立花とよばれ、広島街道の中間の休み場として栄えていました。



1889年、90年ころの立花

HISTORY

1885年(明治18年)、青森県出身の小ヶ口石太郎たちが開拓したのが始まり。大正から昭和にかけ宇納牧場など多くの牧場が開設され、一大酪農地帯へと変わります。

日本酪農の父 宇都宮仙太郎

民間初のバター製造も手掛けたほか、優秀な種牛を導入して品種改良に努めるなど酪農界に大きく貢献し、「日本酪農の父」と言われています。1924年(大正13年)に、出納陽一と共同で宇納牧場を開設しました。また、1925年(大正14年)に北海道製酪販売組合(のちの雪印乳業)をつくり、その組合長として活躍しました。



宇都宮仙太郎



宇納牧場/1927年ころ

のどかな農村地帯

厚別への道に「板橋」あり

開拓当初は青少年科学館付近が、低湿地帯だったため厚別へ出る道がありませんでした。そこで1897年(明治30年)、地域の人たちが協力して湿地に丸太を打ち込み、その上に板を敷いて、長さ約90m幅約2mの道を作りました。この道は「板橋」の名前で親しまれ、往来に役立ちました。



水色表記されているものは現在の施設

GO マイ・タイショウ
FOR シモノッポロ



HISTORY

1885年(明治18年)、筑前(現福岡県)出身の石松弥七たちが、開拓したのが始まり。明治30年代前半からは畑・水田、酪農がおこなわれ、農村地帯へと発展していきました。

農作物の移り変わり

麦、芋、いなぎび、ひえ、そばなどの畑作が盛んで、しだいに販売を目的とした、燕麦、亜麻、ビール麦などの栽培が増えました。



昔はこんな作物を作ったんだ。



女性が支えた開拓生活

女性は男性と一緒に農作業をして、さらに家事・育児をしていました。開拓生活を支えていたのは女性たちだったのです。

ある女性の1日

4時	6時	12時	18時	20時	23時
起床	家事準備	畑作業	昼食	授乳	畑作業
			炊事	夕食	家事
					就寝

熊の沢公園にあった 小林牧場

下野津幌で本格的に酪農を始めたのは、1887年(明治20年)に福井県から来た小林吉松の子、小林政吉と言われています。1934年(昭和9年)もみじ台に小林牧場を開設し酪農経営を行いました。その後、もみじ台団地建設のために上野幌に移転し、その牧場も現在は厚別公園競技場になっています。



小林牧場/1967年



熊の沢公園/2009年

瑞穂豊かな地

もとは江別

小野幌はもともと、江別村(現江別市)でしたが2回にわたって白石村に編入され、厚別とともに発展した地域です。1913年(大正2年)に現在のJR函館本線の南側の地域が、1918年(大正7年)に同線の北側の地域が白石村となっています。



水色表記されているものは現在の施設

GO マイ・タイショウ
FOR コノッポロ



HISTORY

1889年(明治22年)に山口県出身の秋本槌五郎が開拓したのが始まり。1892年(明治25年)に、水田試作を始め1912年(明治45年)ころには、鉄道の北側の7割が水田となっていたそうです。

買い物は厚別で

小野幌の住民は江別村時代から、日用品は厚別で買っていました。子どもたちは、1899年(明治32年)に小野幌簡易教育所が開設するまで、信濃尋常小学校に通学するなど、厚別と深いつながりがありました。



阿波開墾地と越中山

この地域は、徳島県や富山県の人たちが多く開拓をしていたので、昭和の初めのころまで出身地になんだ地名がついていました。



実り豊かな水田を願った 瑞穂池

水田耕作が広がるにつれ、野津幌川と小野津幌川の水量では農業用水の確保が難しくなりました。そのため、1927年(昭和2年)白石第1土功組合を設立し大きなため池の建設工事を開始。苦難をへて1928年(昭和3年)、周囲4km、貯水量170万㎡のため池が完成しました。実り豊かな水田になることを願い、「瑞穂池」と命名されました。



建設工事/1927年



瑞穂池/2009年

水害との闘いの歴史

山本排水 ー山本川の原点ー

この地域は土質が悪いため造田に大変な苦勞をしました。そこで小池嘉一郎が中心となって排水溝づくりに力を注ぎ1920年(大正9年)に山本排水が完成。この排水溝が発展し、今の山本川になっています。



1940年ころ

水色表記されているものは現在の施設

GO メイジ・タイショウ FOR ヤマト



厚別原野

山本は、かつて厚別原野と言われ、農耕に適さない泥炭の湿地帯でした。そのため区内でも一番遅く開拓が始まりました。

地名にもなった山本親子

山本久右衛門は私財を投じてこの地に農場を開き、開拓に力を尽くしました。子の山本厚三も父の意志を継ぎ、道路や排水溝を整備し、土地の改良に力を注ぎました。農地解放前の1944年(昭和19年)には、極めて低価格で農地を解放し、小作人の自立の道を拓きました。山本親子に対する地域住民の感謝の思いは、「山本」と呼ばれていた地名を「山本」と改称したことからわかります。



父・山本久右衛門

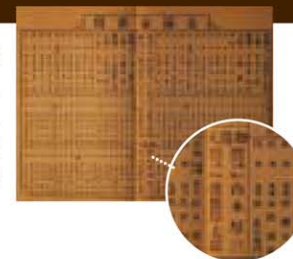


子・山本厚三

資産家 山本家

1918年(大正7年)発行の「北海道百番附」のお金持ち番付に、山本厚三の名前があります。この冊子によると当時200万円(現在で35億7,600万円)以上の資産を持っていたようです。

※当時の米の価格から推測



1908年(明治41年)に小樽で漁業や海運業を営む山本久右衛門が払い下げを受け、1909年(明治42年)に山本農場を開設したのが始まり。この地の開拓は災害や土地改良など苦勞の連続で大変厳しいものでした。

雪の上を水が走る？ 水害との戦い

山本は低地のため、1913年(大正2年)、1926年(大正15年)に大規模な水害に見舞われました。小さなものを含めると毎年のように水害があったと言われています。水害は冬でも起こり、雪の上を水が走って流れ、家の中では浸水した水が氷となって、床上約70センチの高さまでおったこともあったそうです。



『昔は苦勞の連続じゃ。』

う〜ん…厚別の開拓はどこも本当に大変そう。

その通り。今の暮らしがあるのも、先人たちの苦勞があってこそなんじゃよ。だからしっかり歴史を勉強して理解しなきゃいかん。

でもタイムマシンがない21世紀の人たちはどうやって体験すればいいの？

厚別区の北海道開拓の村には、この当時の家が今でも展示されておるんじや。



へえ〜。こんな暮らしをしていたんだ。

まだまだ厚別区の知らないことがいっぱいあるのね。

なんだかもっと勉強したくなってきた！

感心、感心。次のページからは、地名の由来や開拓の道具、食事などをみんなで勉強しよう！

北海道開拓の村 011-898-2692 所 厚別町小野幌50の1

昔の暮らしを学ぼう

炭は生活必需品

開拓生活は、電気や水道がありません。土地を開墾するときに切った木は、木材やまきとして日常生活で使いました。また、炊事や暖房などに欠かせない炭をたくさん作り、札幌のまちで売ってお金にして生活の足しにしていました。



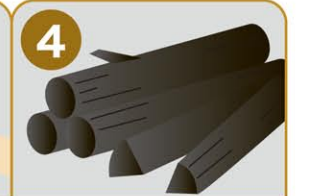
木を切って、炭の大きさに切る。



かまにいてて、かまの入り口で枝などを燃やす。2、3日かけてゆっくり炭化させる。



かまの温度を上げ、かまの口を泥で密閉させて、4、5日置く。



完成！

かるがるわかる

地名カルタ

厚別は何で厚別なの？山本は？新さっぽろは？
地名に隠された歴史の数々、どれだけ知っているかな？

あつべつく 川は豊かに 流れてる

ながの県 昔は **し**なのと 申します

たんぼみち 切り拓いたのは **や**まもとさん

ののなかに 川がひとすじ **の**のっぽろ川

うららかに **ひ**ばりが鳴いてる 春の丘

ちいさいよ 野津幌川より **こ**のっぽろ川

あおあおと 夏の **あ**おばが 生い茂る

つぎは秋 季節を感じる **も**みじ台

べんりです 駅から始まる **し**んさっぽろ

つづいてる **お**おきな谷地が こんなにも

くまが出た と熊沢さんが 言ってたよ



このほかにも
たくさん
あるんじゃ！

あ

青葉

春のイメージのひばりが丘団地。その
とに建てられた団地は夏のイメ
ジにしようと「青葉」になったと言わ
れています。

し

しなの
信濃

信濃は今の長野県。河西由造たちが、ふる
さとの信濃の信州諏訪大社の御分霊をま
つり、信濃神社を創設したのが始まりです。

し

新さっぽろ

厚別は札幌市の副都心として開発が進み、
札幌の新しい玄関口として、JRの駅名に
新札幌と付けられたことが始まりです。

ひ

ひばりが丘

「ひばりが丘」団地という名称は、市民
からの公募によって決められました。

や

山本

道路や排水溝を整備し、広大な田畑の
開墾を成し遂げた山本親子の功績をた
たえ、名字の山本を地名にしました。

こ

小野幌

野津幌川に比べて小さい川「小野津幌川」。
その流域を「小野幌」と呼んだようです。

お

大谷地

その昔、この地域が大きな湿地帯だっ
たことに由来。こうした湿地を「谷地」
と呼ぶところから地名となりました。

く

熊の沢

「クマが出たから」「熊沢さんという人が、
住んでいたから」などの説がありますが、
由来は定かではありません。

あ

厚別

由来はアイヌ語の「ハシ・ベツ（かん木
の中を流れる川）」とも「アッ・ベツ（オ
ヒョウダモのある川、または魚のとれ
る豊かな川）」とも言われています。

の

野津幌

「野津幌」はアイヌ語の「ヌブ・オル・オ・
ベツ（野の中の川）」に由来し、野津幌川
の上流を上野幌、下流を下野津幌と命
名したと言われています。



これは、
知らなかった！

も

もみじ台

春のイメージのひばりが丘団地。夏の
イメージの青葉団地。次の団地は秋の
イメージにしようと「もみじ台」と命名
されました。



明治・大正の暮らし

昔から学べることはたくさんあります。いろんな角度から見てみよう！

昔 VS 今 衣食住3番勝負

昔

すげ笠
野良着
みの

メニュー
●あわめし
●たくあん
●みそ汁

みんなで協力して作りました！

今

服装

食事

住宅

VS

使われていた道具 TOP 3

第1位

とうぐわ 唐鋤

第2位

ささかりがま 笹刈鎌

第3位

てんのうじのこ 天王寺鋸

ズバリ! かい たく 開拓記念館学芸員のイチオシ道具

しまだぐわ とうぐわ がみ
島田鋤は鉄の唐鋤を日本髪
島田結のように丸く曲げるこ
とで、クマザサの根がはる土地
でも開墾しやすくなっています。

ここがポイント
しまだぐわ 島田鋤

昔はなんでも手作りが基本

竹スキーの作り方

竹を足の大ききより
少し大きめにカットする。

竹をいろりであぶり、
丸めていく。

竹スキーの完成。

完成

北海道かい たく 開拓記念館 ☎011-898-0456 所 厚別町小野幌53の2

まちの発展

明治から大正にかけて、停車場
周辺は厚別の中心として発展し
ました。昭和初期の厚別駅周辺は、
鉄道沿いに水田地帯が続き、南側
の停車場通には、商店や学校、神
社などが立ち並んでいました。

1954年の停車場通

地域別	主な開拓者一覧表
年	氏名
1883年(明治16年)	河西由造たち[MAP①]
1885年(明治18年)	石松弥七たち[MAP②] 小ヶ口石太郎[MAP③] 阿住勘五郎、駒林鉄五郎[MAP④]
1887年(明治20年)	千田松太郎、渡辺吉太郎たち[MAP⑤]
1889年(明治22年)	秋本穂五郎[MAP⑥]
1908年(明治41年)	山本久右衛門[MAP⑦]



1897の厚別村

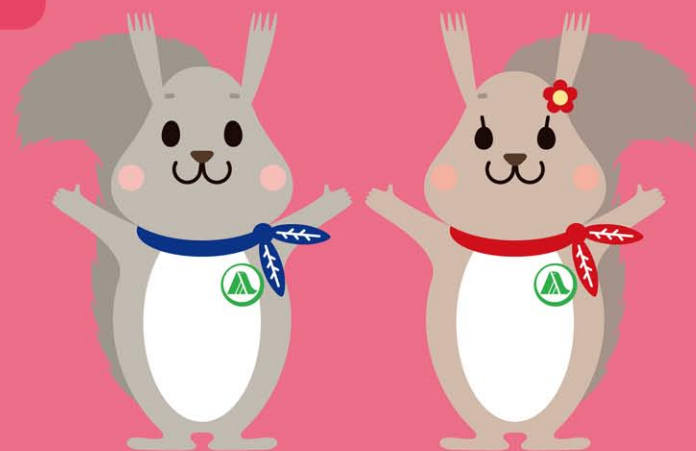
1897年(明治30年)の旧豊平他4カ
村戸長の演説書のなかに、河西由造
たちに村の新設の動きがあったこ
とが書かれています。しかし、厚別
村の実現には至らず、厚別は白石村
の一部として発展していきます。

第2章

農村地から住宅地へ

白石村と札幌市との合併などで、
厚別のまちの姿は急激に
大きく変わっていくよ！

おーい
出発するぞ～！



農村地あつべつ



厚別マメ知識～熊がいた！

昔から北海道の森には、熊がたくさん住んでいました。厚別でも熊に襲われたり畑を荒らされたようです。木を切り、森がなくなると、次第に熊も減っていきました。1944年(昭和19年)ころ、小野幌のあたりで熊を討ち取ったという記録があります。それは厚別にいた最後の熊だったのかもしれませんが。



のどかな農村地だった厚別が劇的に変わっていく時代じゃ。

げき どう 激動の時代、昭和！

戦争と食糧不足



ヤミ市(1945年ころ)

HISTORY

1945年(昭和20年)ころ、食糧不足が起こりました。厚別の人たちは若者が兵隊に行き、働き手が少ない中でも一生懸命に食糧を作りました。

ヤミ市で食べ物などを自由に取り上げていたんだね。



札幌市と合併



HISTORY

戦争が終わり産業が回復しつつある1950年(昭和25年)。白石村と札幌市が合併(ひとつになること)して、厚別は札幌市の一部となり、道路や橋が整備され、まちが発展しました。

厚別マメ知識～ 水害で大ピンチ！

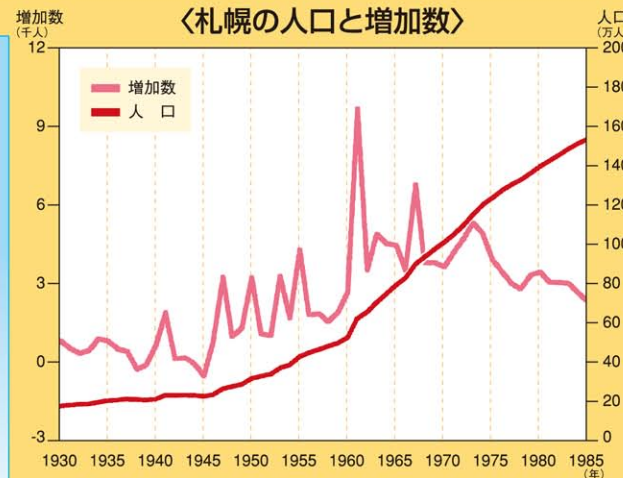


札幌市と合併した1カ月後の1950年(昭和25年)7月31日から8月1日にかけて、すさまじい豪雨が札幌を襲いました。この災害で下野津幌や小野幌が特に大きな被害を受けましたが、財政力が豊かな札幌市の一部となっていたために、被害の復旧がすばやく行われました。

札幌市の人口増加

HISTORY

戦後30万人ほどだった札幌の人口は、1955年(昭和30年)ころから産業の回復やベビーブーム(出生率が急に高まった時期)などで、急増しました。そこで札幌市は、人口増加による住宅不足の解決策として、たくさんの方が住める団地を厚別に造ることを決めました。



たくさん人が増えたんだね！



◀ここはどこかな？

こうして厚別に団地が造られることになったのじゃ。

ひばりが丘団地

HISTORY

団地の候補地となったのが、現在の『ひばりが丘』。そこにはかつて、工場や農場などがありました。1966年(昭和41年)、その広い場所におよそ5,000人が住めるようにと、ひばりが丘団地が完成しました。



▲造成中のひばりが丘団地(1959年ころ)



▲1920年ころのひばりが丘団地付近には、厚別製線工場という糸を作る工場がありました。

農村地から住宅地へ



HISTORY

1962年(昭和37年)の原油の輸入自由化をきっかけに、石炭よりも石油が多く使われるようになったこともあり、道内の農村や産炭地から、札幌に集まってくる人たちが増えました。そこで、1968年(昭和43年)に青葉団地、1980年(昭和55年)にもみじ台団地を造りました。



1968

Before
1968年の
もみじ台付近の様子▶



1979

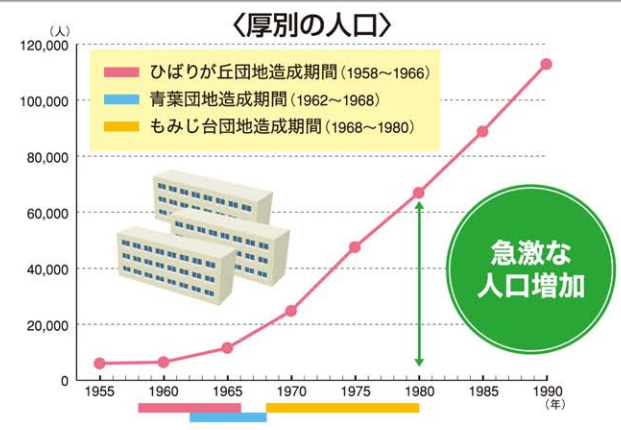
After
◀1979年の
もみじ台団地の様子

お家が
いっぱい増えた!

団地ができたら、人が増えた!

HISTORY

戦後5千人ほどだった厚別の人口は、ひばりが丘団地ができたことにより、1965年(昭和40年)に1万人を超え、青葉団地ができたあとの1970年(昭和45年)には約2万5千人になりました。さらに、もみじ台団地ができた1980年(昭和55年)には6万5千人以上にもなり、団地ができるたびに人口が増えたのがわかります。





Change!



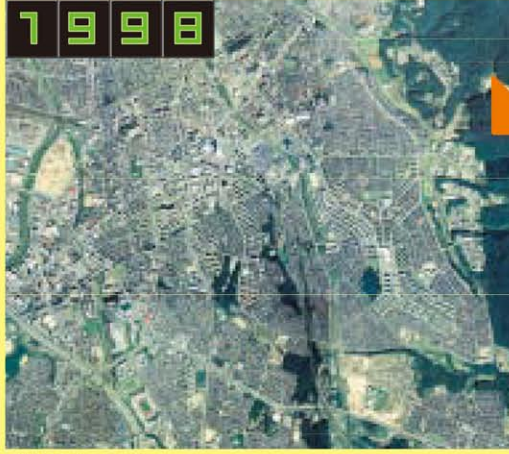
1947

▲1947年の厚別。まだ団地がなく、田畑が広がっている。



1973

▲1973年の厚別。団地がたくさんできました。



1998

▲1998年の厚別。

厚別のまちが
大きく変わったのが
わかるじゃろ!

人が増えたら、
大変なことも
増えそうだなあ...

HISTORY

このように、厚別はのどかな農村地帯から、ひばりが丘団地の造成をきっかけに、大規模な住宅地帯に変わっていきました。このように短期間にまちづくりが進んだのは、厚別を築いてきた人たちの積極的な協力があったおかげです。

二つの問題を解決！そして便利なまちへ

だんやくこ
弾薬庫には火薬が
たくさんあるから
家の近くにあると
危ないなあ…



問題① 弾薬庫移転問題

Before



1969年

ひばりが丘団地の近く（現在の
新札幌駅の周辺）には、戦
争の時につくられた弾薬庫
がありました。

解決

人が多く住むようにな
ったため、別の場
所に移転しました。



After

1974年 広い空き地が
できた！

土地を
有効利用
できるね！



問題② 千歳線短絡問題

Before



千歳に向かう鉄道（千歳線）の急
カーブをなくそうと、途中まで
函館線に沿わせて、団地を通り
上野幌駅につなげるルートが考
えられました。しかし、騒音など
の問題でできませんでした。

解決

住宅地をまわりこむ
ように、路線を変更
しました。



After

1973年 新札幌駅
ができた！



駅を
中心に
発展！



急カーブのある
鉄道の路線を変え
たいけど、団地の
近くは通れないし…



なくなった線路の跡がこのあと大変身するよ！(35)ページへ

1972年

ちょうどそのころ、札幌市は
人口が100万人を超え
「政令指定都市」に
なりました。

白石区誕生！

政令指定都市になった札幌には、中央区、北区、東区、
白石区、豊平区、南区、西区の7つの区ができました。
こうして厚別は、白石区の一部としてスタートしました。

広報さっぽろ1972年3月号▶



区役所いよいよスタート

便利な札幌の中心地ばかりに、
人が集まりすぎると、困るなあ…

新たな
問題 中心部への
人口集中



政令指定都市って？

政令で決められているまちのこと。区役
所をつくったり、いろいろなことがで
きるようになって、住みよいまちになります。



札幌の中心地をもうひとつ「副都心構想」

新札幌駅のまわりにある弾薬庫の跡地に、人が集まる便利なまちをつくることにしました。
それは副都心構想といわれ、計画的にいろいろな施設がつけられました。

商業施設



テナパートが
できた！

文化施設



科学館・水族館が
できた！

交通



地下鉄が
通った！

1977年 サンピアザオープン ▶ 1981年 青少年科学館開館 ▶ 1982年 サンピアザ水族館開館 ▶ 1982年 地下鉄新さっぽろ駅開業



そしてついに…

厚別区
の誕生



厚別"区"

新札幌駅のまわりが便利になり、各地域の宅地開発などにより住む人も増えたため、1989年(平成元年)11月6日、白石区から分かれて(分区)、厚別区になりました。



厚別マメ知識～ 厚別区になったわけ

『厚別区』という名前は、緑区、ひかり区、新さっぽろ区、川東区などの案がたくさんあったなかで、住んでいる人たちの強い希望で「厚別」という名前が選ばれました。

厚別マメ知識～ 織り姫と彦星

厚別区と白石区の境界となっている厚別川沿いに、分区を記念して造られた親水広場があります。この広場には、厚別川をはさんで、厚別区側に織り姫、白石区側に彦星の像があり、厚別川を天の川に見立てて、白石区と厚別区が離れても通じ合っている様子をあらわしています。



誕生!!

もっと便利なまちになるように、厚別区が誕生する前後にいろいろな施設ができました。



厚別区の	1990年	1992年	1994年	1995年	2001年	2004年	2009年
20年							
	第1回 厚別区民まつり	厚別老人福祉センターオープン	フリーマーケット『夢市場あつべつ』はじまる	厚別駅に『飛翔』ができる	厚別警察署開設	厚別温水プールリニューアルオープン	厚別区誕生20周年を記念した催し



道の歴史

生活に欠かすことのできない道。昔はとても不便でどこへ行くにも大変な苦勞をしていました。ここでは、厚別の「道」の歴史を振り返ります。



1896

明治29年



当時の大きな道は国道12号と国道274号(一部)、停車場。あとはけもの道。鉄道もありましたが、運賃が高くあまり利用されていなかったそうです。



雪が降ると孤島

雪が降ると道はなくなり、歩くこともできなかったそうです。



1921

大正10年



国道12号が鉄道の南に切り替わり、少しずつですが人口も増え、生活道路が増えていきます。



国道12号

雨が降ると泥道となり、げたでは歩けないほどのひどい道でした。



国道12号/1920年ころ

1950

昭和25年



1926年(大正15年)に旧千歳線ができ、1953年(昭和28年)には市営バスが運行を開始しました。道路の舗装が始まったのもこのころです。



ホコリ街道

当時の国道12号は、道幅も狭く砂利道で坂が多かったそうです。また砂ぼこりがひどかったため、ホコリ街道と呼ばれていたそうです。



北海道新聞/1958年8月29日

1975

昭和50年



1973年(昭和48年)に現在の千歳線が完成し、1974年(昭和49年)に南郷通と白石サイクリングロードが開通。住宅地として発展し、道も急速に増えていきました。



南郷通開通

1974年(昭和49年)、南郷通の開通式が行われました。当時は、菊水歩道橋からもみじ台までの一部区間を除いた9.53kmが完成し、開通式をむかえました。



南郷通開通式/1974年

2007
平成19年

約110年で
こんなにも道は
進化したんじゃ!



すご〜い!!



1979年(昭和54年)に道央自動車道が開通し、1982年(昭和57年)には地下鉄東西線が新さっぽろまで延びるなど、街の発展とともに道は増え、便利になりました。



第3章 厚別区の今

昔から戻ってきたぞ。
今、みんなが住んでいる厚別区は
どんなまちなのかな？



わたしたちのまちの
プロフィール

知ってる？厚別区

厚別区の
誕生日は？

11月6日

2009年11月6日、
20歳になりました。

厚別区の
大きさは？

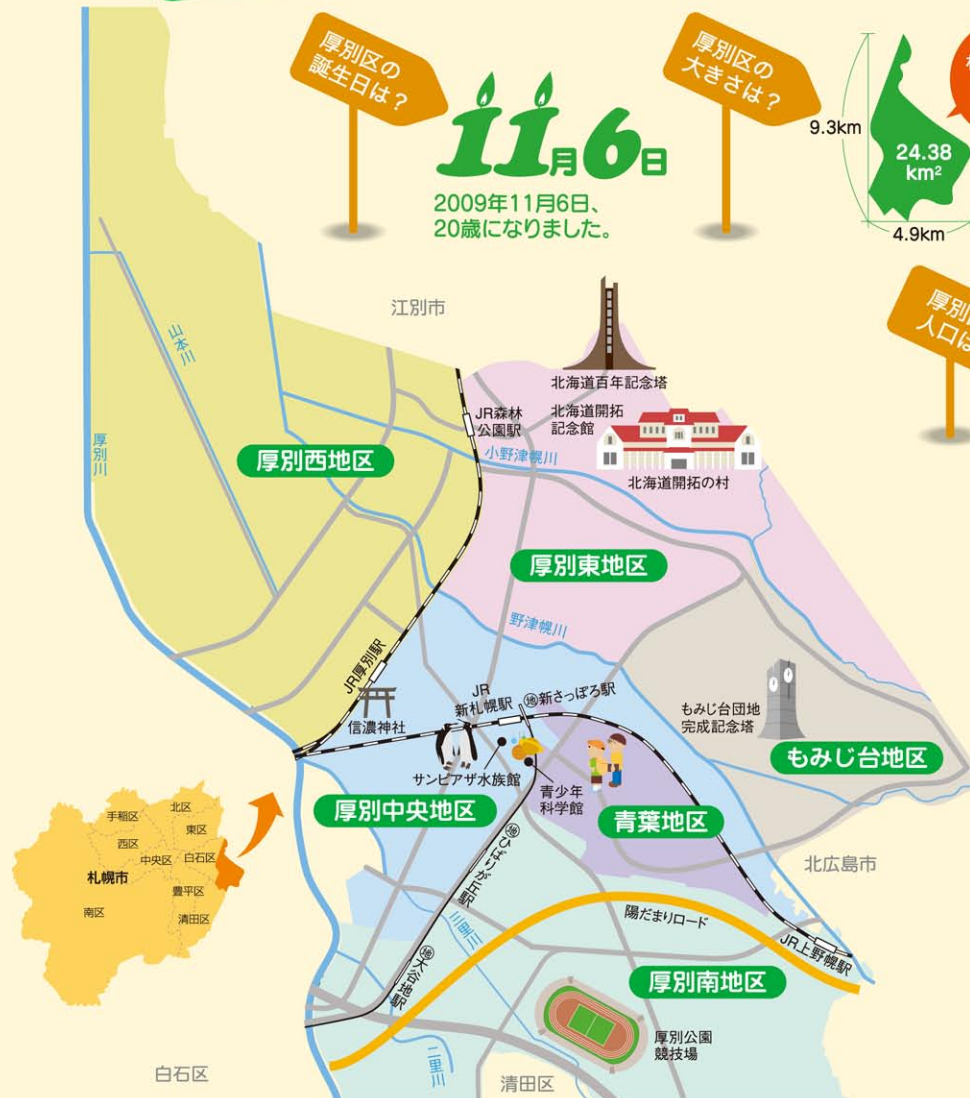
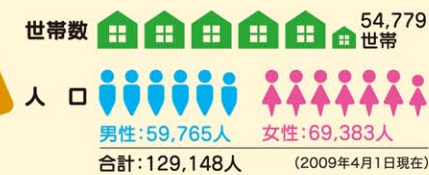


札幌10区中
最小

厚別区
のとなりは？



厚別区
の人口は？



北海道開拓の村



札幌市青少年科学館



厚別公園競技場



厚別区
の
シンボルマークは
何に見える？

全体は厚別区の頭文字 (Atsubetsu) の「A(a)」。左側のピラミッド型は区の形で、2本の線で川を、太い線と2本の線で葉っぱを表現しています。右側は、厚別区に住むみんなの力で、まちづくりが活躍するように、鳥をイメージしています。青緑色は、すがすがしい街と豊かな自然を表しています。



みんなで取り組むまちづくり



住みよいまちをつくるために、
地域の人々ががんばっているんじゃ。
よいまちをつくるために
みんなは何ができるかな？

①あつべつ区民協議会・各地区まちづくり会議

町内会や会社など地域の団体が集まって、厚別のまちを良くするために、活動しているよ。

②町内会・自治会

過ごしやすいまちになるように、同じ地域に住む人たちが協力して、いろいろな活動をしているよ。



陽だまりロードのごみ拾い

③子ども会

キャンプや子どもまつりなど、子どもたちが楽しめる行事を行っているよ。



厚別区子どもまつり

④青少年育成委員会

子どもたちがすこやかに育つように、まちを見回ったり、地域・学校・家庭と連携した活動を行っているよ。



⑤民生・児童委員

お年寄りや子どもたちが困ったとき、相談相手になったり、みんなが交流できる行事などを行っているよ。

⑥交通安全運動推進委員会

交通事故が少しでも減るように、外で呼びかけたり、交通安全教室などを行っているよ。



⑦福祉のまち推進センター

一人暮らしのお年寄りの手助けなど、高齢者の生活をよくするために活動しているよ。



健康茶話会

この他にも地域の団体や学校・PTAなど、いろいろな人たちがまちづくりに関わっています。

アッキーはどこに行っちゃったのかな…？
みんな、探してね。



自然あふれる厚別



青葉中央公園

人の手を加えず昔からの地形を残している青葉中央公園は、春にはカッコウやヒバリなどの野鳥が飛来し、沢沿いにはミズバショウの群落を見る事ができます。



ひ陽だまりロード

サクラ、ナナカマド、シラカバなどの樹木が見られます。沿道には、厚別南白樺公園、厚別南緑地など、緑豊かな公園があり、野鳥も多く見られます。

詳しくは、35ページへ



野幌森林公園

札幌市(厚別区)、江別市、北広島市にまたがる、とても大きな公園です。

詳しくは、45ページへ



自然がたくさん残っているんだね。



熊の沢公園

シラカバ・ヤチダモ・ツリバナ・ヤマモミジ・メイゲツカエダなど多くの樹木が見られます。



厚別マメ知識～厚別の公園

厚別には公園・緑地が164カ所もあります。その中でも広い公園を『地区公園』といい、厚別には「青葉中央公園」と「熊の沢公園」の2カ所があります。どちらも緑あふれる自然豊かな公園です。

自然観察に出発！



自然観察のルール

RULE

- 草花をつみとらないようにしましょう。
- 危険な場所へは絶対に行かないようにしましょう。
- ごみを散らかさないようにしましょう。

！自然観察の注意

DANGER

自然には危険な生き物もたくさんいます。森の奥へ入ったり、むやみに植物や動物にさわったりしないようにしましょう。



スズメバチ

スズメバチは巣を守るために攻撃するので、見つけたらさわがず静かにその場を立ち去りましょう。



カ・ブヨ

“カ”や“ブヨ”は、夏に多く見られ、刺されることがあります。虫除けの薬などを用意しましょう。



ツタウルシ

3枚に分かれたツヤのある葉っぱが特徴のツタウルシは、さわるとかぶれます。むやみに植物にさわらないようにしましょう。

自然を守ろう！

花をつんだり、生き物を捕まえることは自然にとって良くないこと。でも、飼っている生き物を森や川に放すことは、もっとダメ。自然破壊の原因になります。家で育てていた植物やペット、昆虫などを森に放すと、元々住んでいた生き物が食べられたり、影響を受けて弱ってしまい、やがて本来の自然環境を破壊してしまいます。自分が育てた生き物は、責任をもって最後まで世話をしましょう。



よーし、自然観察に出発！



野幌森林公園には
いろいろな自然が
たくさんつまって
おるぞ！

野幌森林公園の自然

野幌森林公園は、大都市近郊の平地林として世界的にも貴重な公園で、豊かな自然がたくさん残っています。公園内の道は整備されており、自然観察にはぴったりです。



公園内の約束

- 1.遊歩道から外れない
- 2.動物、植物をとらない
- 3.ごみを捨てない

動物

キタキツネなどのほ乳類、エゾサンショウウオなどの両生類、カナヘビなどは虫類が生息しています。鳥類は150種類以上が確認されています。



昆虫

クワガタムシなどの甲虫や、
チョウ、トンボ、カメムシなど、
1300種以上の虫が確認され
ています。

植物

トドマツやミズナラなど
100種を超える樹木、ミズバ
ショウやフクジュソウなど
600種以上の草花が季節を彩
っています。



北海道立野幌森林公園
自然ふれあい交流館

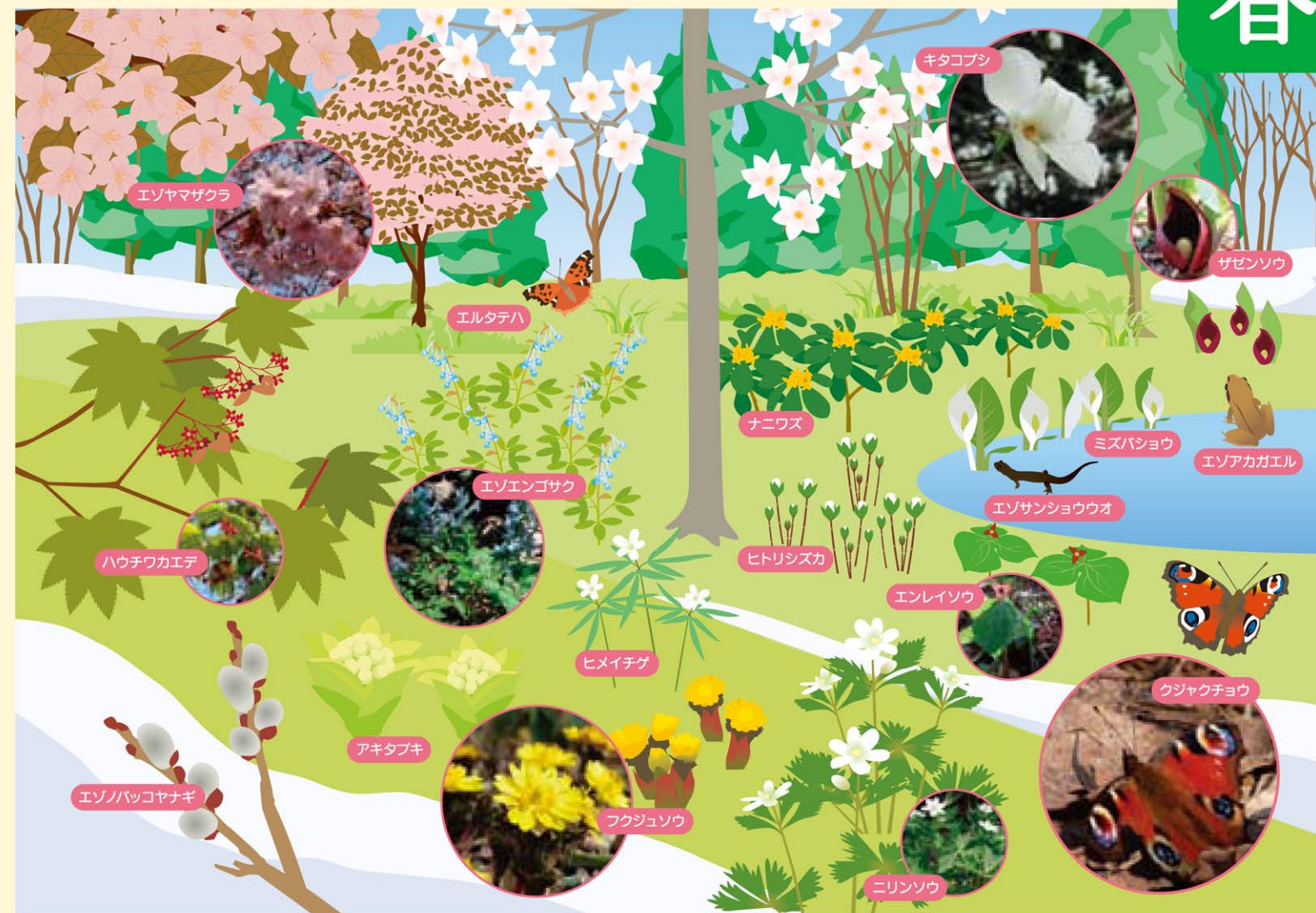
☎ 011-386-5832

野幌森林公園や北海道の自然に関する情報や資料があり、自然観察会などの行事も行っています。

写真協力(46ページから50ページ)
濱本 真琴氏(自然ふれあい交流館)

季節ごとの
自然を
見に行こう!

じゅもく
樹木の根元から雪がとけて地表が現れます。そこからいろいろな植物の芽が出てきます。



自然観察のポイント 春

さえずりで鳥がわかる！

春には多くの鳥たちがやってきます。
さえずりにそれぞれ特ちょうがあるので、
どんな鳥がいるのかがわかります。
さえずりをたよりに鳥を探してみましょう。

オオルリ

水辺の紅葉樹を好み、
「ヒーリーリー」や
「フィーチャー
チャー」と
大きな声で
さえずります。



キビタキ

林の中で、「ピッコロロ、ツクツクチー」と明るく
さえずります。

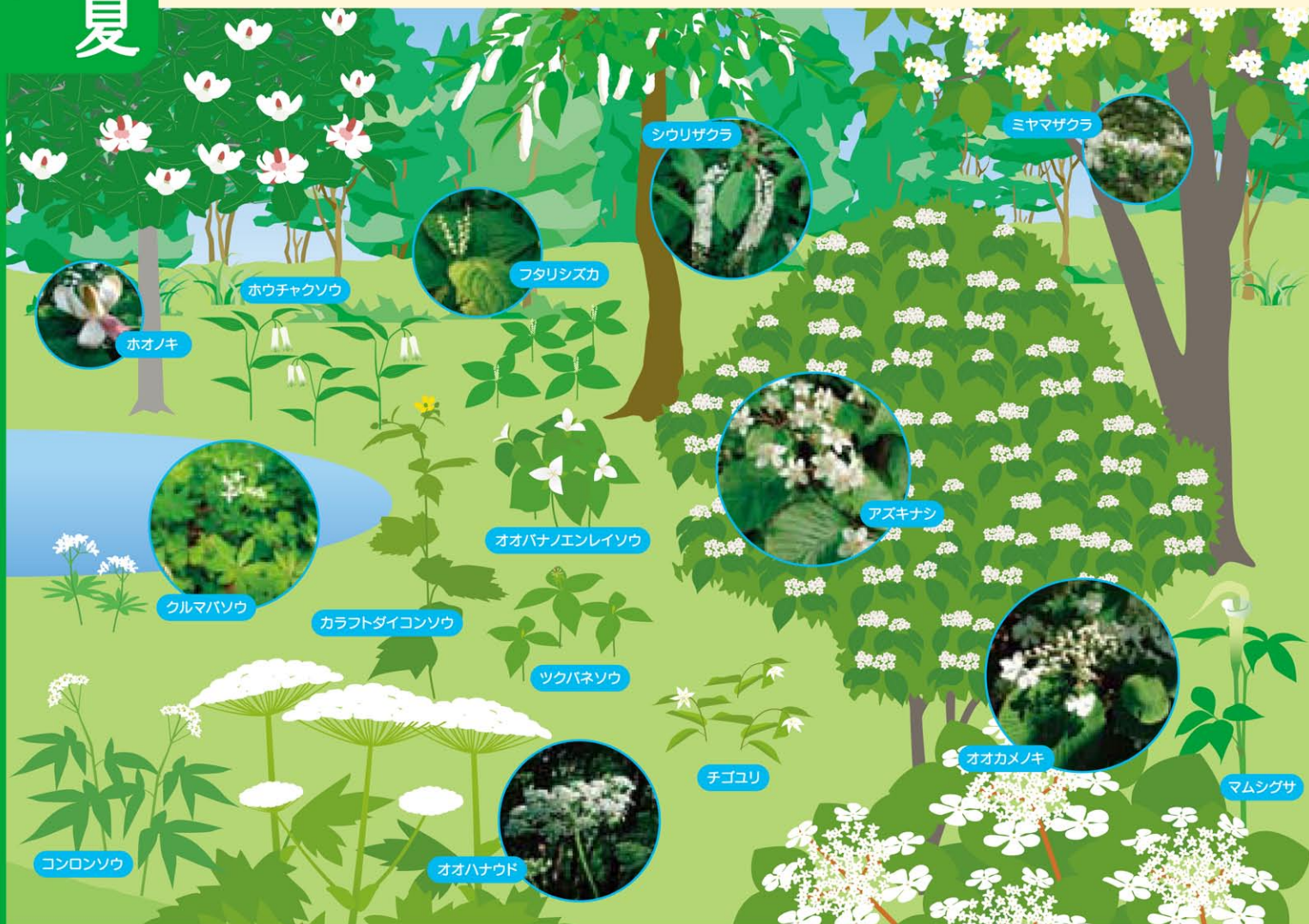


クロツグミ

地上におりてきます。「キョロイ、キーコ、キョコキョコキョコ」と陽気にさえずります。



森の緑が次第に濃くなって、さまざまな生き物が活発に動きはじめます。



生い茂った葉や草にまぎれながら、蝶やトンボなどの虫たちが、花や木に集まります。



自然観察のポイント 初夏 から 夏

夏に見られる昆虫①

北海道のセミの中で一番早く羽化するエゾハルゼミが鳴き出したら、夏の始まりです。一か月ほど遅れて、コエゾゼミ、エゾゼミが鳴き出します。



エゾハルゼミ



コエゾゼミ



マイマイカブリ



バンノキハムシ



モモトカミキリ

自然観察のポイント 初夏 から 夏

夏に見られる昆虫②

樹液や花の蜜を求めて虫たちが集まり、短い夏を精一杯生きます。夏の終わりにはナツアカネが赤くなり始め、秋の訪れを感じさせます。



ハネナガフキバッタ



ナツアカネ



ノシメトンボ



ミカドフキバッタ



マメコガネ



アオジョウガ

秋

森が赤や黄色にそまり、木の^{じゅく}実が熟し、動物たちは冬への準備を始めます。



自然観察のポイント 秋

秋の木の実

熟して色づいた木の実は、鳥などに食べられます。実の中にある「たね」は、食べた鳥のフンとして、他の場所に運ばれていきます。



冬

森は雪に包まれ、白い世界へ。雪の上には動物の^{あしあと}足跡が発見できます。



自然観察のポイント 冬

雪の上で見つけよう！

冬の森では、雪の上にいるいろいろな動物の足跡^{あしあと}が見つかります。動物によって足跡^{あしあと}が違うので、どの動物がいたかがわかります。

キタキツネ^{あしあと}の足跡

左右の足跡にぶれがなくほとんど一直線なのが特徴です。

ユキウサギ^{あしあと}の足跡

「ケンケンパ」をしているような足跡。小さいのが前足、大きいのが後足です。

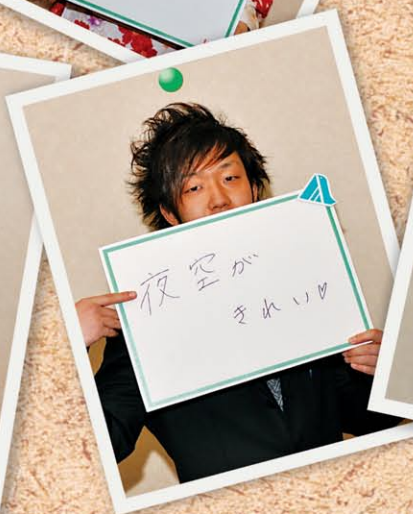
エゾリス^{あしあと}の足跡

大きいのが後足でその後にある小さい足跡が前足です。ユキウサギのように縦にならず、横にならびます。

20歳の主張!! あつべつのここがスキ

厚別区の成人式で、20歳の皆さんに厚別区の好きなところをボードに書いていただきました。

わしも
そう思う!



みんな厚別が
大好きなんだね!



20歳の ホンネを

大調査! 厚別成人
20人に聞きました!

Q. 厚別区は好きですか?

はい 20人(100%)



厚別区のすべての小学校が協力

みんなで描こう!

未来の厚別

厚別区の小学生の皆さんに未来の厚別を文字やイラストで表現してもらい、それをもとに「未来の厚別」を描きました。



子どもたちが想像する未来

こんな街になってほしい

- 第1位 花や緑があふれるまち
- 第2位 環境に優しいまち
- 第3位 平和なまち

未来にはこんなものがある

- 第1位 エコな乗り物
- 第2位 エコな建物
- 第3位 たくさんの自然

なくなってほしいもの

- 第1位 ごみ
- 第2位 犯罪
- 第3位 環境に悪いもの

みんなのイメージを

イラストにすると...



協力してくれた児童



ひばりが丘小学校



信濃小学校



大谷地東小学校



共栄小学校



厚別西小学校



厚別北小学校



厚別通小学校



小野幌小学校



厚別東小学校



上野幌小学校



上野幌西小学校



上野幌東小学校



青葉小学校



もみじ台小学校



みずほ小学校



もみじ台南小学校



もみじ台西小学校

未来の厚別

将来
どんなまちになるかは
みんなの力にかかって
いるんじゃ。



数字で見る厚別

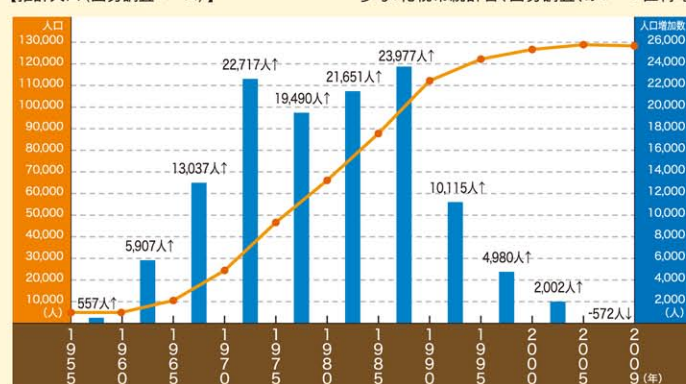
厚別区の移り変わり

各年10月1日※2009年のみ4月1日

年	人口	世帯数
1920年(大正9年)	3,118人	482世帯
1935年(昭和10年)	4,054人	539世帯
1955年(昭和30年)	5,287人	915世帯
1960年(昭和35年)	5,844人	1,230世帯
1965年(昭和40年)	11,751人	2,504世帯
1970年(昭和45年)	24,788人	6,826世帯
1975年(昭和50年)	47,505人	13,441世帯
1980年(昭和55年)	66,995人	20,118世帯
1985年(昭和60年)	88,646人	27,699世帯
1990年(平成2年)	112,623人	37,576世帯
1995年(平成7年)	122,738人	44,091世帯
2000年(平成12年)	127,718人	48,759世帯
2005年(平成17年)	129,720人	51,837世帯
2009年(平成21年)	129,148人	54,779世帯

【推計人口(国勢調査ベース)】

参考:札幌市統計書、国勢調査、あつぽろ区再考



比べてみよう! 厚別区の今昔

	厚別区誕生 1990年4月1日現在	厚別区現在 2009年4月1日現在
人口	110,106人 19,498人増↑ 1.18倍	129,604人
14歳以下	24,546人 8,426人減↓ 0.66倍	16,120人
15歳〜64歳	78,027人 9,292人増↑ 1.12倍	87,319人
65歳以上	7,533人 18,632人増↑ 3.47倍	26,165人
世帯数	38,024世帯 21,037世帯増↑ 1.55倍	59,061世帯

【住民基本台帳による】

参考:札幌市統計書

学校の誕生

順番	年	小学校名
1	1893年(明治26年)	信濃小学校
2	1899年(明治32年)	小野幌小学校
3	1900年(明治33年)	上野幌小学校
4	1968年(昭和43年)	青葉小学校
5	1972年(昭和47年)	もみじ台小学校
6	1973年(昭和48年)	共栄小学校
7	1975年(昭和50年)	みずほ小学校
8	1977年(昭和52年)	ひばりが丘小学校
9	1979年(昭和54年)	もみじ台南小学校
10	1980年(昭和55年)	もみじ台西小学校
11	1985年(昭和60年)	厚別西小学校
12	1987年(昭和62年)	厚別北小学校
13	1988年(昭和63年)	大谷地東小学校
14	1989年(平成元年)	上野幌西小学校
15	1990年(平成2年)	厚別通小学校
16	1992年(平成4年)	上野幌東小学校
17	1993年(平成5年)	厚別東小学校



小学校誕生 早見表



パラパラ厚別音頭

パラパラ漫画で遊ぼう!

厚別区民まつりをはじめ、各地域の祭りでも踊られている厚別区伝統の踊り「厚別音頭」。

←ベッキーが厚別音頭を踊るよ!



厚別音頭 一番の歌詞

作詞:毛馬内 教夫

ハア〜♪
北の大地に 朝が来て♪
光あふれる 街並みよ♪
ここは札幌 副都心♪
みんな楽しく 集まって♪
厚別音頭で 踊ろうよ♪
トントンと 花が咲く♪

歌詞は84点の応募作品の中から決まりました

知る人ぞ知っている? 区内ナンバー1!

1番面積が大きい地区

8.17平方メートル

厚別西地区

(2009年4月1日現在)

1番人口が多い地区

36,849人

厚別南地区

(2009年4月1日現在)

1番高い建物は

115メートル

シェラトンホテル札幌

(2009年4月1日現在)

1番多い街路樹は

5,179本

イチョウの木

(2009年4月1日現在)



厚別のことをどれだけ理解できたかな？

アツベーツ入門テスト



問1 厚別の開拓の先駆者「^{かいたく せんくしゃ}河西由造」はどの人でしょう？



問2 下の1969年(昭和44年)の空撮写真の中に、当時にはあるはずのないものが写っています。それは何でしょう？



[ヒント] 32ページを理解していると、わかるよ。

問3 厚別区で最も早くできた小学校は「^{しなの}信濃小学校」である。○か×か？



問4 厚別区^{たんじょうび}の誕生日は？

イ 1989年1月1日 ロ 1989年11月6日 ハ 1989年1月16日

問5 あるなしクイズです。「ある」グループには共通点があります。それは何でしょう？

ある
あご
まる
窓
日

ない
くち
ばつ
庭
月

[ヒント] 「ある」の言葉の前には何か別の言葉がつくよ。

問6 写真に写っている池の名前は、何でしょう？ ○にはいる文字を教えてください。

みず○いけ



全問正解した君は、アツベーツの隊員として合格じゃ！



(注) 1問() 2問() 3問() 4問() 5問() 6問() 7問() 8問() 9問() 10問() 11問() 12問() 13問() 14問() 15問() 16問()

厚別の歴史をおさらい。そして、未来へ進もう！

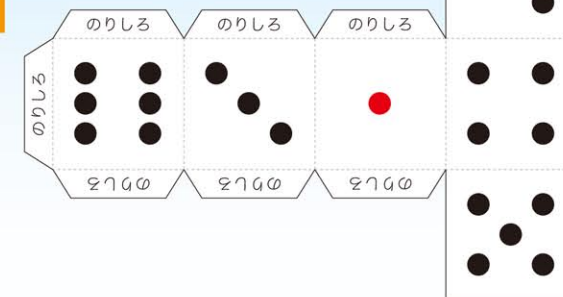
あつべつワールド 歴史スゴロク

次のページでは、厚別の歴史を学びながら楽しくあそべる「スゴロク」が登場！

あそぶ
前に読む
ページ



サイコロ



あそび
かた

- 歴史スゴロクは、「大昔ゾーン」「開拓ゾーン」「まちづくりゾーン」に分かれています。
- 各ゾーンを通過するには、それぞれアイテムが必要。アイテムがそろっていれば、次に進む。
- そろっていない人は手に入れるまで挑戦。
- 「ストップ!」のマスでは必ず止まり、次の番で進みましょう。
- 「ゲット!」のマスに止まったときは、アイテムをもらいましょう。

このページを拡大コピーして、サイコロ・コマ・アイテムなどを切り取って使おう。準備ができれば、みんなで挑戦だ！

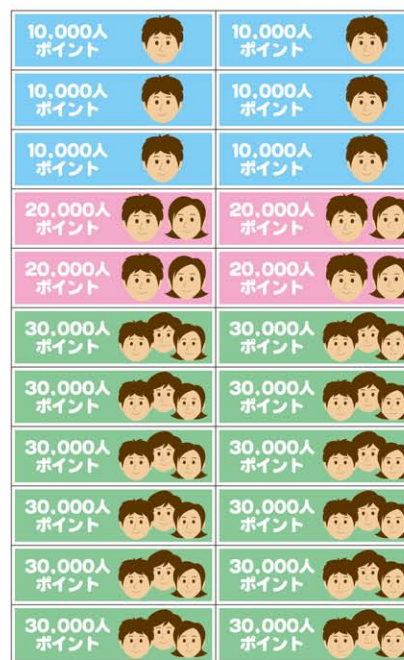
コマ



アイテム



人口ポイント



厚別の歴史をおさらい。そして、未来へ進もう！

あつべつワールド 歴史スゴロク

始める前に用意しましょう

- 厚別区役所ホームページから、「サイコロ」「コマ」「アイテム」をプリントして切り取り、組み立てるか、前のページを拡大コピーして、切り取り、組み立てよう。

<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

スタート

大昔ゾーン

厚別はまだ海の中。じっと待とう…。

ステラー海牛^{かいそう}に海藻を
ごちそうしたら、
背中に乗せてくれた。
2マス進む

シガゾウを追って、
ヘトヘトになる。
2マス戻る

地殻変動により、
大地が盛り上がり、
陸地ができた！

支笏火山噴火！
厚別台地が形成される。
「大地」をゲット！

新たな土地を求め、
仲間が旅立つ。

さあ、次は→
「開拓」ゾーン！

次へ進む条件

大地

土器

弓矢

石器

大昔アイテムを
1つ持っている。
持っていない人は、
白色の矢印の道へ
戻ってください。

次の番でサイコロをふり、
開拓する地域を決めよう。

縄文時代に突入。
住居を建てる。

土器をつくる！
「土器」をゲット！

狩りで疲れたので
ゆっくり休む。
1回休み

弓矢をつくる！
「弓矢」をゲット！

アイヌ文様など
豊かな文化を
発展させる。

石器をつくる！
「石器」をゲット！

開拓ゾーンA

厚別東・西・川下、
旭町、大谷地
コース

くま
熊に出会う！
死んだフリで
くま
熊が去るのを待つ。
1回休み

功績アイテム
ゲット！
しなの
信濃神社を建てる。
「回結力」をゲット！

功績アイテム
ゲット！
炭焼きを行う。
「炭」をゲット！

かいこん
水田の開墾に
成功！
まちが栄える。

功績アイテム
ゲット！
電気を町に引っばる。
「電気」をゲット！

功績アイテム
ゲット！
吉田用水が完成する。
「水田」をゲット！

豊作で、お米を
食べ過ぎて満腹。
1回休み

1969年
厚別弾薬庫を
慎重に移転する。
2回休み

1968年
もみじ台団地造成
30,000人ゲット！

1962年
青葉団地造成
30,000人ゲット！

1958年
ひばりが丘団地造成
30,000人ゲット！

1950年
札幌市と白石村
が合併する。

戦争で、食料不足と
働き手不足になる。
1回休み

人口が増える。
まちづくり計画を
話し合う。

ストップ！
いよいよ
「まちづくり」
ゾーン！

次へ進む条件

回結力

炭

電気

水田

バター

橋

こうせき
功績アイテムを
2つ以上持っている。
持っていない人は
開拓ゾーンAかB
どちらかのオレンジ
コースマスまで
戻ってください。
※同じアイテムが2つでもOK！

1989年 厚別区誕生！
←ゴールはもうすぐ！

次へ進む条件

人口ポイントを100,000人以上
集めている。
集められていない人は白色の矢印の道へ
戻ってください。

最後の2マスは指令の数字を出せたら、先に進めます。
人口ポイントが集まった人は、いざ挑戦！

厚別区誕生20周年の
『20』を出そう！
連続でサイコロをふって
出た数字を足して
「20」ぴったりになったら
クリア！
オーバーしたら
次の番でもう一度。
ストップ！

1996年
コンサドーレ札幌誕生。
サポーターの背番号「12」の
『1』か『2』を
出せたら、次のマスへ！
出せなかった場合、
次の番でもう一度。

1977年
サンピアザ完成
10,000人ゲット！

1981年
青少年科学館開館
10,000人ゲット！

1982年
地下鉄が「新さっぽろ駅」
まで延びる。
1マス進む

1983年
北海道開拓の村
が開村する。

1986年
厚別公園競技場完成
20,000人ゲット！

開拓ゾーンB

野津幌、下野津幌、
小野幌、山本
コース

立花で立ち話も
なんですから、
ゆっくり休憩を。
1回休み

功績アイテム
ゲット！
ばっさい
原生林を伐採する。
「炭」をゲット！

功績アイテム
ゲット！
らくのう さか
酪農が盛んになる。
「バター」をゲット！

農作物の種類が
増え、人手不足。
1回休み

功績アイテム
ゲット！
板橋を架ける。
「橋」をゲット！

山本排水の造成に
成功する。

功績アイテム
ゲット！
瑞穂池をつくる。
「水田」をゲット！

59

60

61

厚別略年表

明治時代（1868年～1912年）

1882年(明治15年)	札幌～旧幌内炭鉱間に鉄道開通
1883年(明治16年)	河西由造たちが現在のJR厚別駅付近に入植
1889年(明治22年)	札幌～江別間の江別街道(現:国道12号)が開通
1890年(明治23年)	広島街道(一部現:国道274号)が開通 (1891年・1892年開通の説あり)
1892年(明治25年)	停車場通が開通
1893年(明治26年)	信濃農務教育所が開設
1894年(明治27年)	厚別駅開業
1895年(明治28年)	北海道庁札幌警察署厚別巡査駐在所設置
1896年(明治29年)	厚別郵便局が開局
1902年(明治35年)	野津幌(厚別)墓地開設



河西由造



国道12号/1920年ごろ



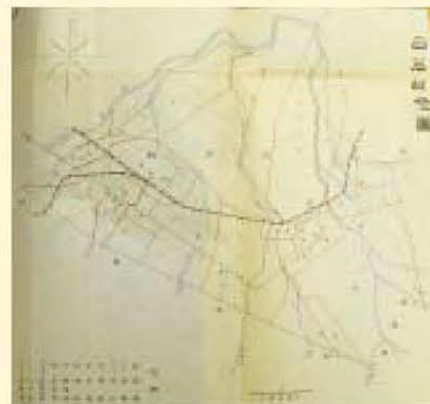
厚別駅/1921年

大正時代（1912年～1926年）

1913年(大正2年)	小野幌地区の一部を江別村から白石村に編入
1915年(大正4年)	国道12号が鉄道の南側に切り替え
1918年(大正7年)	小野幌地区の一部を江別村から白石村に編入
1919年(大正8年)	電灯組合を厚別に設置、電力の供給開始
1926年(大正15年)	北海道鉄道の苗穂～苫小牧間開通 大谷地、上野幌駅が開業

昭和時代（1926年～1989年）

1928年(昭和3年)	瑞穂池完成
1944年(昭和19年)	厚別弾薬庫が完成
1950年(昭和25年)	白石村(厚別を含む)が札幌市と合併 (白石支所厚別分室を設置)
1951年(昭和26年)	白石支所厚別分室を厚別出張所と改称
1953年(昭和28年)	市営バス厚別線運行開始
1958年(昭和33年)	ひばりが丘団地造成開始(～1966年)
1962年(昭和37年)	下野幌第1団地(現:青葉団地)造成開始(～1968年)
1963年(昭和38年)	厚別川改修工事(3年計画)始まる
1967年(昭和42年)	下野幌第2団地造成開始(～1981年)
1968年(昭和43年)	野幌森林公園が道立自然公園に指定 下野幌第3団地(現:もみじ台団地)造成開始(～1980年)
1969年(昭和44年)	厚別弾薬庫の移転完了
1970年(昭和45年)	北海道百年記念塔が完成 東消防署厚別町出張所(現:厚別消防署)開設
1971年(昭和46年)	北海道開拓記念館開館 厚別軽工業団地造成開始
1972年(昭和47年)	札幌市が政令指定都市となり白石区誕生 副都心開発基本計画が決定



白石村地図/1921年



札幌市と合併/1950年



もみじ台団地/1979年

1973年(昭和48年)	厚別出張所新庁舎完成(厚別児童会館を併設) 千歳線白石～北広島間複線化(新札幌駅・上野幌駅が開業)
1974年(昭和49年)	白石サイクリングロード開通 厚別清掃工場が完成(2002年廃止) 南郷通開通 厚別中央連絡所開設
1976年(昭和51年)	地下鉄東西線(琴似～白石)開通 厚別温水プール開館(2004年移転) もみじ台連絡所開設
1977年(昭和52年)	サンピアザオープン (厚別区役所・厚別保健所・厚別消防署開設)
1978年(昭和53年)	白石消防署もみじ台出張所開設
1979年(昭和54年)	道央自動車道(札幌南～北広島)開通 青葉連絡所開設
1981年(昭和56年)	白石区(現:厚別区)体育館開館 札幌市青少年科学館開館 虹の橋完成
1982年(昭和57年)	地下鉄東西線新さっぽろ駅まで延長 大谷地バスターミナル開業 サンピアザ水族館開館 北海道開拓の村開村 森林公園駅開業 山本こ線橋開通 新さっぽろ駅まで延長/1982年
1983年(昭和58年)	
1984年(昭和59年)	
1985年(昭和60年)	ひばりが丘団地建て替え開始(～1993年)
1986年(昭和61年)	下野幌青少年キャンプ場開設(2000年移転) 厚別南・厚別西連絡所開設 札幌テクノパーク造成完了 札幌エレクトロニクスセンター開設 厚別公園競技場完成
1987年(昭和62年)	白石消防署厚別西出張所開設 第2白石区民センター(現:厚別区民センター)開設 厚別図書館開館
1988年(昭和63年)	第2テクノパーク造成・分譲開始

厚別と戦争

戦時中は、厚別からも多くの若者が兵士として出征していきました。また、農耕馬も軍用馬として徴収されたために大変厳しい生活となりました。



▲上野幌駅での出征光景/1942年ごろ

平成時代（1989年～）

1989年(平成元年)	厚別区誕生 (厚別区役所・厚別保健所・厚別消防署開設)
1990年(平成2年)	新さっぽろ駅ターミナルビル北棟(DUO 1)オープン 第1回厚別区民まつり開催
1992年(平成4年)	厚別老人福祉センターオープン 新さっぽろ駅ターミナルビル南棟(DUO 2)オープン
1993年(平成5年)	厚別融雪槽が完成 厚別西地区センターオープン 厚別南地区センターオープン
1994年(平成6年)	JR厚別駅前にモニュメント「飛翔」完成
1995年(平成7年)	プロサッカーチーム「コンサドーレ札幌」誕生
1996年(平成8年)	ふれあい広場あつべつオープン 厚別区土木センター、厚別東連絡所開設 下野幌団地の建て替え開始 厚別中央通こ線橋全線開通 小野幌青少年キャンプ場開設 厚別警察署開設 連絡所をまちづくりセンターに改称 厚別温水プールリニューアル 青少年科学館プラネタリウム リニューアル サンピアザ劇場リニューアル リユースプラザオープン 厚別区誕生20周年
1999年(平成11年)	
2000年(平成12年)	
2001年(平成13年)	
2004年(平成16年)	
2005年(平成17年)	
2009年(平成21年)	20周年を記念した催し/2009年

瑞穂池 決壊

1955年4月に瑞穂池が決壊しましたが、1957年に再建され、よみがえりました。



終わりに

参考文献

- 厚別区役所『あつべつ区再考』
- 厚別開基百年記念事業協賛会編集部『厚別開基百年史』
- (株)札幌副都心開発公社『札幌副都心開発公社10年小史』
- (財)日本地図センター『地図で見る札幌の変遷』
- 札幌市立信濃小学校開校百周年記念事業協賛会『札幌市立信濃小学校百周年記念誌』
- 札幌市役所『札幌市統計書』
- 札幌市役所・札幌市教育委員会『札幌歴史地図(昭和編)』
- 下野津幌郷土史編集委員会『下野津幌郷土誌』
- 白石区役所『白石歴しるべ』
- 白石発展百年史編集委員会『白石発展百年史』
- 白石村役場『白石村史(大正10年版)』
- 白石村役場『白石村史(昭和15年版)』

特別協力



大谷地東小学校の児童14人

監修

北星学園大学 文学部教授 阿部 敏夫氏

協力

(株)札幌副都心開発公社
札幌市アイヌ文化交流センター
札幌市写真ライブラリー
札幌市中央図書館
札幌市文化資料室
札幌市埋蔵文化財センター
札幌市役所都市計画課
北海道開拓記念館
北海道開拓の村
北海道大学附属図書館
北海道立野幌森林公園自然ふれあい交流館
河西 敬一氏
多田 一也氏
橋本 修氏

企画・編集

札幌市厚別区市民部総務企画課広聴係
〒004-8612 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目
電話 011-895-2400
発行日 2009年(平成21年)11月6日

デザイン・制作

株式会社北海道博報堂

印刷

留萌印刷株式会社札幌支社



さっぽろ市
01-001-09-873
21-1-48